

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問／参議院議員 進藤 金日子



新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、島根県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。



私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。島根県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。

◆ 新年のご挨拶（参議院議員 進藤金日子）	1
◆ 新年のご挨拶（参議院議員 宮崎雅夫）	2
◆ 「ひかわ水土里女性の会」設立総会開催	3
◆ 総会関係（2月2日）全体日程	4
◆ 1月の主な予定	4

新年のご挨拶

農林水産大臣政務官／参議院議員 宮崎 雅夫



鳥根県土地改良事業団体連合会会員各位ならびに関係の皆様にご挨拶に謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年10月に発足した岸田内閣ならびに11月発足の第二次岸田内閣において、農林水産大臣政務官を拝命いたしました。これも偏に鳥根県の皆様ならびに、進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導とご支援によるものであり、本年も新たな気持ちで現場主義に徹しつつ皆様のご意見をお伺いしながら一層努力して参る所存ですので、引き続きのご指導をお願いいたします。



さて、ここ2年に亘って農林水産業はじめ各方面に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、国民の皆様のご協力により、昨秋以降の新規感染者数は低位に推移していますが、新たな変異株による感染拡大も懸念される昨今の状況からは決して油断することはできません。

経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料の多くを輸入に頼る我が国にとって食料安全保障の確立は極めて重要であり、そのためには我が国の農林水産業の持続的発展が不可欠です。

こうした中、昨年末には、皆様のご協力により令和4年度当初予算案が閣議決定されるとともに、臨時国会において令和3年度第1次補正予算が成立し、農業農村整備事業関連予算として総額6,300億円を確保することができました。

このうち、令和4年度当初予算案においては、前年度の当初予算を上回る4,468億円を確保し、農地の大区画や水利施設・ため池等の老朽化対策、流域治水などを推進することとしています。また、令和3年度補正予算では、TPP対策や防災・減災、国土強靱化対策の加速化に必要な1,832億円が計上されており、全国の皆様のご要望にしっかりと応ええる規模となっています。

また、これから国会で議論される令和4年度当初予算案においては、関連する土地改良法の改正を検討することとしており、主な事項としては、これまで地震対策として実施してきた、ため池等の急施の防災事業に豪雨対策を追加すること、農地中間管理機構関連農地整備事業の対象工種に農業用水路や農道を追加すること、市町村や土地改良区による防災対策事業の機動的実施のため、土地改良事業団体連合会による技術的支援等を可能とすること、また、組織の維持が困難となった小規模土地改良区について、法人格を維持しながら認可地縁団体等に移行できる手続きを規定することなどを予定しています。予算と制度が車の両輪となって土地改良が円滑に実施され、効果が確実に発現できるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑張る所存です。

これからも皆様とともに土地改良を着実に推進するため、もう一つの大切な車の両輪である、進藤金日子議員と一緒に国政で取り組んで行けるよう、鳥根県の皆様にご支援をお願い致します。

結びに、本年が皆様お一人おひとりとご家族にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお祈りいたします。

「ひかわ水土里女性の会」設立総会開催

昨年12月23日（木）午後1時30分より、斐川文化会館に於いて「ひかわ水土里女性の会」の設立総会が開催され、県内で初めてとなる土地改良区の女性の会が発足しました。

総会では、この会の発案者である出雲市斐川土地改良区遠藤理事長からこの地区は斐川特産の花づくり農家が多く、この会の活動としての花づくりを通して女性の輪が広がることを期待していると挨拶がありました。その後、オンラインでの進藤参議院議員からの挨拶、来賓の中国四国農政局農村振興部柵木部長をはじめ、鳥根県農林水産部堀野課長、出雲市長代理農林水産部金築部長の祝辞のあとこの会の中心を担う4名の役員が紹介され、初代会長に就任された三加茂会長からは楽しく活動できる会にしたいとの挨拶がありました。



総会の様子

総会には、会員38名の出席がありましたが、今後は土地改良区に事務局をおき、地元斐川町の女性60名でスタートすることになりました。発足にあたっては、会員でも土地改良区の存在さえ知らない方も少なくないため、まずは花の植栽を中心に「花のまちひかわ」として農村環境づくりを目指し、女性グループ間のネットワーク構築など女性がより生き生きと活躍できる社会となるよう継続的に活動を行う予定です。

当日総会終了後には、早速、初回の活動として花の寄せ植え講習会があり、三加茂会長が講師となり、シクラメンなど数種類の花の寄せ植えを楽しみました。

近年、政府では、誰もが意欲に応じて活躍できる男女共同参画社会の実現に向けて様々な取り組みをしており、中でも令和2年12月に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」には、地域農業に大きな影響力をもつ、農業委員、農協役員、土地改良区理事について、女性登用の目標が設定されました。さらに、土地改良区に関しては、理事のみならず総代における女性の役割が極めて低い現状を踏まえ、関係者の女性登用に対する理解の促進や意識改革を進め、土地改良区の女性ネットワーク化などにより、女性活躍に向けた環境作りを促進する方針が示されたところです。昨年5月には、県内の農業農村整備事業に係わる女性を会員とした「しまね水土里女性の会」が設立され、すでに活動を始めていますし、また、出雲市斐川土地改良区では先般、女性の員外理事が就任されております。



寄せ植え講習の様子

今後も県内で土地改良区女性理事の登用や土地改良区女性の会が数多く発足することで農業農村整備や土地改良区の役割、重要性などへの認識が深まり、地域をリードできる女性の育成につながることを期待されます。

総会関係（2月2日）全体日程

令和4年2月2日（水）は下記の日程で執り行います。

時 間	内 容	関係出席者
13:30～13:50	島根県農地・水・環境保全協議会理事会	協議会役員
14:00～14:20	島根県農地・水・環境保全協議会総会	市町村等
14:30～15:10	令和3年度土地改良功労者表彰式	受賞者、県土連会員等
15:20～16:20	島根県土地改良事業団体連合会第64回通常総会	会員 (市町村、土地改良区)
16:30～16:50	島根県農業農村整備推進協議会総会	市町村

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

島根県土地改良事業団体連合会

会 長	長岡 秀人	理 事	田中 武夫	代表監事	楫野 弘和
副会長	岩本 一巳	理 事	塚原 隆昭	監 事	秋田 勝秀
専務理事	多久和 卓志	理 事	嘉戸 隆	監 事	青砥 正幸
常務理事	渡部 明孝	理 事	久保田 章市		
理 事	加藤 滋夫	理 事	池田 高世偉		外職員一同

1月の主な予定

開催日	行 事 等	開催地
1月13日(木)	水土里ネット事務責任者会議	東京都
1月20日(木)	令和3年度県土連第3回役員会	県土連



水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
 ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp